

ダムの防災操作（洪水調節）による効果のお知らせ

令和元年 8月16日
土木建築部 河川課

8月14日～8月15日の台風10号による降雨で大分県が管理する下記の1ダムにおいて、洪水の一部をダムに貯留すること（洪水調節）で、下流河川の水位上昇を抑制したことについてお知らせします。

1. 防災操作（洪水調節）実施ダム

ダム名	所在地	河川名	防災操作日時	
			開始	終了
北川ダム	佐伯市宇目大字南田原	一級河川 五ヶ瀬川水系北川	8月15日 1:23	8月15日 7:40

※防災操作（洪水調節）：ダムに流れ込む水を一時的に貯留し、下流河川の水量を抑えることで、水位上昇を抑制すること。

2. 防災操作（洪水調節）の概要と効果

【北川ダム】

- 最大流入量 292.0m³/s のうち 81.0m³/s をダムに貯め、下流へは 211.0m³/s を放流しました。
- 上記操作により、下流河川（熊田橋地点）において、河川水位を約 0.3m 低減させました。

【問い合わせ先】

河川課 ダム・海岸班

山田・田川・金森

【電話】097-506-4595（直通）



安心・活力・発展

大分県土木建築部

令和元年8月14～15日の台風10号の影響による 北川ダム防災操作(洪水調節)の効果について

令和元年8月16日

【速報推計】

台風第10号の接近に伴い、14日9時から雨が降り始め、15日1時までに累計118mmの降雨があり、1時23分には流入量が洪水量200m³/sに達したため防災操作(洪水調節)を開始しました。

その後も流入量は増加し、6時00分には最大流入量の292m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量は211m³/sであり、81m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、15日10時17分には洪水量の200m³/s以下になりました。

総雨量は164mm(14日9時～15日7時)で、時間最大雨量は、25mm(15日2時)でした。

今回の防災操作により、下流河川(熊田橋地点)において、河川水位を約0.3m低減させたと推測しています。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

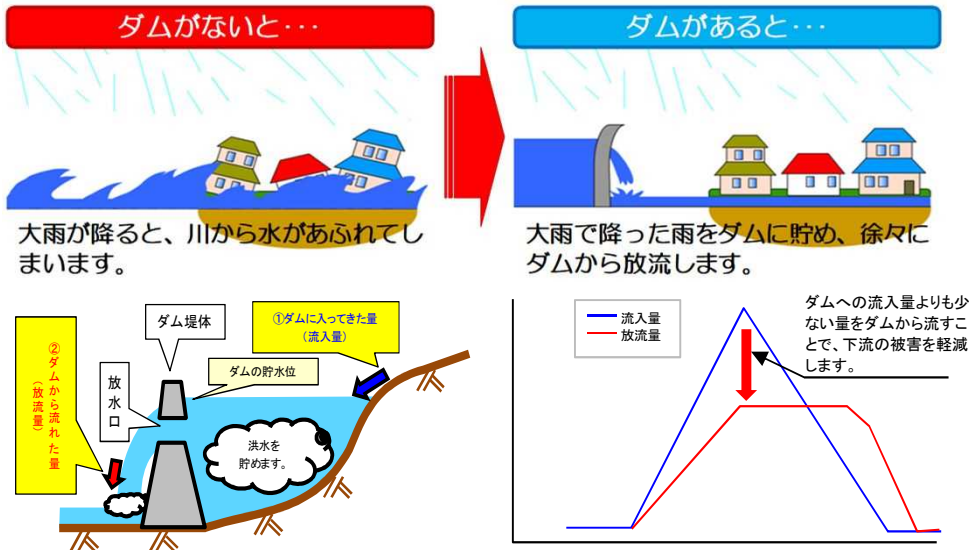
電話 (097)597-6890

令和元年8月14～15日の台風10号の影響による 北川ダム防災操作(洪水調節)の効果について

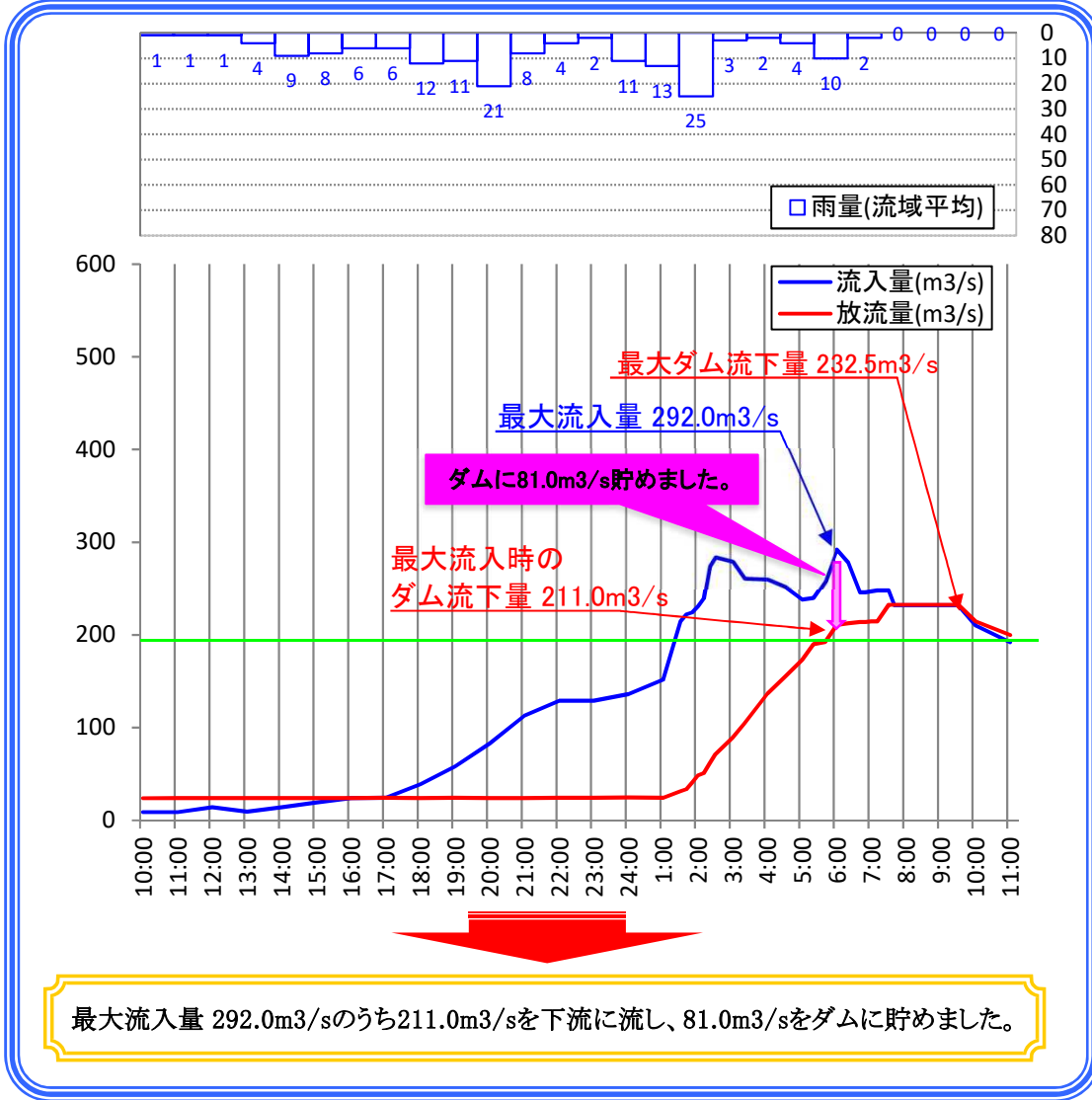
【北川ダム位置図】



【ダムの治水効果】

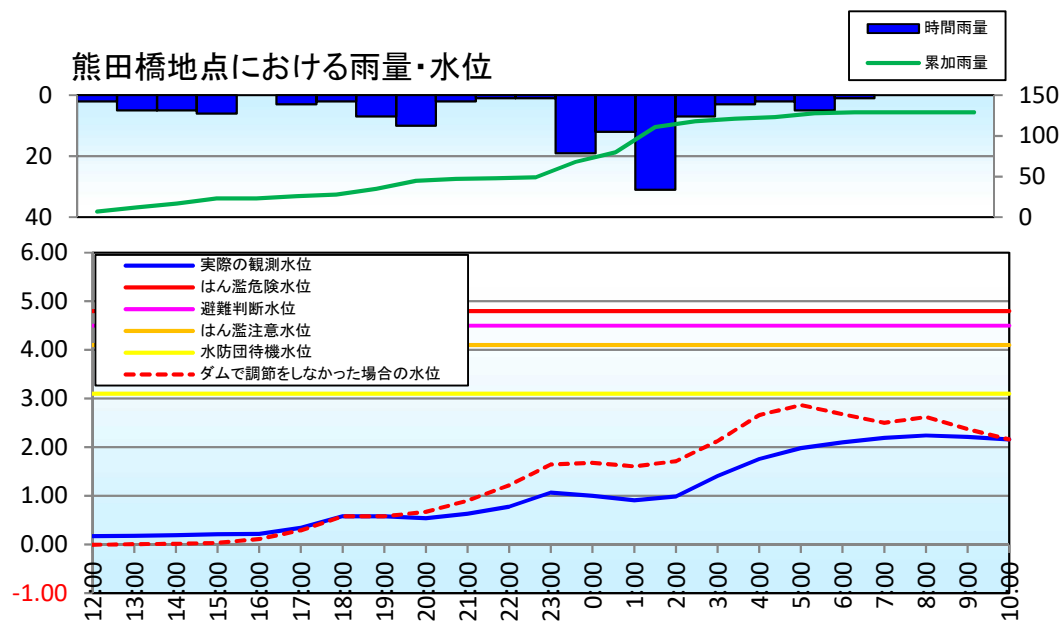
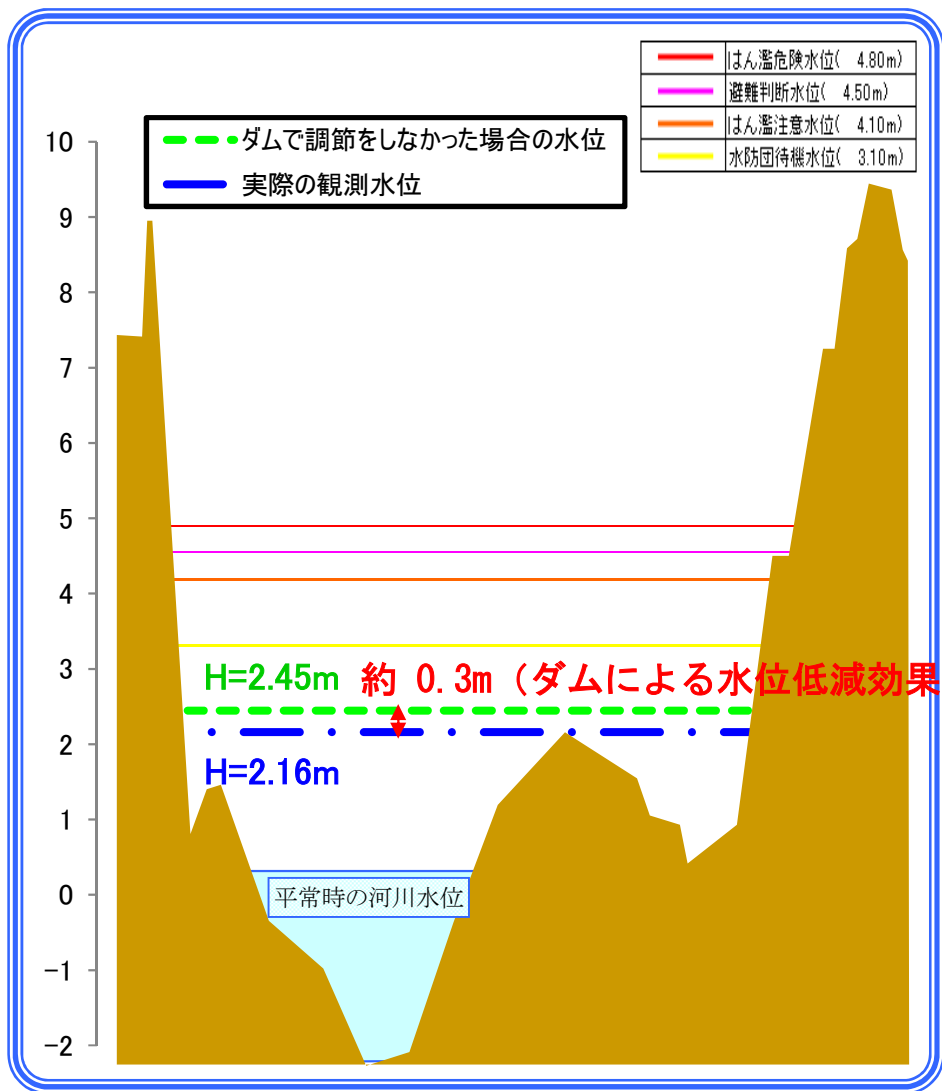


【防災操作実績図(速報値)】



令和元年8月14～15日の台風10号の影響による 北川ダム防災操作(洪水調節)の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)



写真1 平常時の北川



写真2 今回の北川